

国道 390 号・道路照明灯における不点灯の解消を求める要請決議

当市は新石垣(南ぬ島)空港開港後、格安航空会社(LCC)の参入等で低価格な運賃の実現に伴い、入域観光客数も着実に増え各産業に盛り上がりを見せている。

開港後の平成 25 年では 94 万人余りの過去最高を記録し、本年は 105 万人の入域客数を目標に掲げ、達成する見込みとなっている。

入域観光客数の増加に伴い島内全体が活気に溢れている中で、レンタカー等の車両登録台数も著しく増え、当市の車両保有台数は平成 26 年 3 月末現在 35,316 台で昨年よりも 1,362 台増加し、5 年前と比較すると 2,518 台の増加となっている。

さて、入域観光客数が増加している一方で、交通事故や観光客を狙った犯罪のほか、女性を狙った脅迫事件の認知件数が増加していることから、万全な交通安全及び防犯対策が求められている。

夜間における国道 390 号の道路照明灯は、不点灯の箇所が多い状況にある。特に車両や歩行者の往来が激しい 730 交差点においては、4 年間で幾度となく故障するなど、不点灯を繰り返しており、ひどい時で数ヶ月以上の不点灯も確認されている。

また、住宅地が密集している八重山博物館前から石垣島地方気象台(南)交差点の区間については、数年間不点灯であることは明らかである。

さらに、国道バイパス通りについても、利用者が多い真栄里公園と隣接していることから、ウォーキングやジョギングする方も多く、市街地とのアクセス道路としても住民のみならず観光客も利用するなど利用率は高い状況である。

住民からは夜間の通行は危険であるとして、道路照明灯の不点灯の苦情が多く寄せられており、沖縄県八重山土木事務所に対しては議員からも度々指摘をされている状況である。

従いまして、道路交通安全対策及び防犯対策の観点から徹底した維持管理が求められていることから、当市議会は国道 390 号の維持管理をしている沖縄県に対し遺憾の意思を伝えると同時に、早急に改善していただくよう下記の事項について強く要請する。

記

1. 交差点及び横断歩道の照明は、接近してくる車両の運転者に対してその存在を示し、交差点内及び交差点付近の状況と横断中及び横断しようとする歩行者等の状況がわかるようにすること。
2. 夜間における歩行者等の安全かつ円滑な移動を図るため、良好な視環境を確保すること。
3. 故障を繰り返す箇所については、原因究明し再発防止に努めること。
4. 維持管理予算の増額を図ること。

以上、決議する。

平成 26 年 10 月 21 日

石垣市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、八重山土木事務所長、八重山選出県議会議員